

岩井隆盛先生をしのぶ

松 本 克 己

長年にわたって本学会評議員であられた金沢大学名誉教授岩井隆盛先生は、平成7年2月12日85歳で逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

先生は明治42年5月18日石川県羽咋郡押水町でご出生、旧制第4高等学校を経て昭和10年東京帝国大学文学部言語学科をご卒業後、故郷に戻られて石川県立松任農学校、石川県立金沢第3中学校、富山県立高岡中学校で教鞭をとられた後、昭和19年石川青年師範学校教授、同23年石川師範学校教授を歴任され、戦中戦後の苦難の時代に教育者として多くの地域の人材を育成されました。昭和24年新制金沢大学の発足と共に、同学教育学部助教授、昭和40年同教授にご就任、その間同学部国語学科において言語学、国語学、聾教育等の講義をご担当されました。続いて、昭和41年10月同学法文学部に配置替え、故浅井恵倫教授のご退官後空席となっていた同学部言語学科の主任教授として、昭和50年定年ご退官になるまで、言語学概論、音声学、日本方言学、朝鮮語、アイヌ語等の講義を担当され、浅井恵倫先生の後を継承して金沢大学言語学科の充実と発展のためにご尽力されました。

先生のご専門の分野としては、ひとつは聾啞教育とそれに関連する手話の研究（「聾の手話」『聾教育研究年報』2（昭和29年）、「記号としての手話」『言語研究』26/27（昭和29年）など）、もうひとつは日本方言学、とくに北陸方言の調査研究があります。先生はすでに昭和24年以来国立国語研究所地方研究員として北陸地方の方言調査を担当され、また、同25年から35年まで石川国語方言研究会の会長も務められました。先生のこの方面のご研究は数多くの論文として結実しましたが、その中でも「石川方言—その分布と区画」『国語学』11号（昭和28年）をはじめ、「能登方言の諸相」九学会連合『能登』（昭和30年）、「金沢方言の音韻・文法」（昭和34年）、「白峰方言の分布と変化」『白峰村史上巻』（昭和

37年), 「佐渡方言の諸相」九学会連合『佐渡』(昭和39年), 「石川県荻市方言」『方言録音資料』(昭和44年), 「加賀と能登の方言」『石川県史現代篇4』(昭和47年), 「北陸の方言」『方言と標準語』(筑摩書房昭和50年), 「中部方言の概説」『講座方言学6』(昭和58年) 等々が特筆されるでしょう。先生はまた、その立派なご体格にふさわしいスポーツマンでもあられ、お若い頃にはバーボールの選手として活躍され、その後長年にわたって石川県バーボール協会の顧問として選手の育成とこのスポーツの発展に寄与されたとお聞きしています。

先生のお人柄はまことに温厚篤実、人情に厚くしかも折り目正しい金沢人の長所を一身に集めたようなお方でした。私が先生にはじめて接したのは、昭和31年浅井恵倫先生に招かれて言語学科の専任講師として金沢大学に赴任したときですから、もう40年近い昔のことになります。先生はそのころから、法文学部の言語学科でも講義を担当され、言語学科のいろいろな集まりにも必ずお顔を見せられました。はじめて過ごす雪の城下町で、岩井先生や中国語学の鈴木直治先生の酒席にしばしば交えて頂いたのがなつかしく思い出されます。先生が言語学の主任教授として私どもの研究室に移られてからは、学生たちとの方言調査が研究室の重要な年中行事となりましたが、先生ご在任の最後の頃、能登の柳田村で行った方言調査には私も仲間に加えていただき、野外調査の面白さを身をもって知ったのも得難い体験でした。

先生は能登の口元にあたる津幡町にお住まいがあり、ご実家は旧くからの酒造家ということでした。そのせいもあってかこよなく酒を愛され、酒を酌み交わしての談論に興じられ、春風駘蕩としたその温かなお人柄の故に、身近な学生や同僚だけでなく、各方面で活躍している昔の教え子たち、方言調査に協力されたいろいろな土地のお年寄りの方々、そしてまた日頃先生に接する金沢市民など、周りのすべての人たちから親しまれ慕われてきました。先生のご退官後しばらくして私も金沢を離れることになって、最近の10年余りは折々の時候のご挨拶以外はご無沙汰がちでしたが、たまたま5年前、岩井先生の傘寿と私の還暦とが重なり、それを同時に祝う会が金沢大学の言語学教室と昔の卒業生諸氏の手で催され、その折に80歳のお年とは思えないほどに矍鑠としたお元気なお姿に接したのが先生に直接お会いした最後となりました。

先生は金沢大学を定年ご退官後、昭和50年から同55年まで金沢女子短期大学教授として教鞭をとられ、また昭和63年まで13年間にわたり金沢大学の非常勤講師として言語学の講義を担当され、言語学教室の行く末を温かく見守ってくださいました。その間昭和56年、勳三等旭日中綬章を受章されました。ここに先生のご人徳と長年のご功績を讃えると共に、先生のご冥福を心からお祈りする次第です。